

# COMMONS PAGE

by 三井のオフィス



進化するファッションデザイナー

## 菊池 武夫

尽きない情熱と  
湧き出る好奇心が  
仕事の原動力

2019 No.003  
TAKE FREE

COLORFUL STYLE

オフィスもプライベートも  
あなたの"もっと"をかなえる

COLORFUL NOW

働く女性を応援する  
居心地のいい場所を目指して

commons-web.jp

INTERVIEW

# COLORFUL WORKER

ファッションデザイナー

菊池 武夫

1939年東京生まれ。BIGI、MEN'S BIGIを経て、1984年からTAKEO KIKUCHIをスタート。2004年、一旦ブランドを後任に引き継いだ後、2005年に40ct&525を立ち上げ、2012年からクリエイティブディレクターに再就任。2014年にはブランド設立30周年を迎えた。2015年には、13年ぶりとなる大規模なショーを開催。



ニュートラルに、ときに極端に。

79歳、職業・ファッションデザイナー

尽きない情熱と好奇心

ある時はデザイナーとして、またある時は経営者として、

常に時代の先端に立ち、

精力的に仕事に取り組まれてきた菊池武夫さん。

チャーミングで品があり、

人を惹きつけてやまない魅力の裏には、

どんな秘密があるのでしょうか。

仕事への想いや向き合い方について伺いました。



答えを出し続けてきたら、  
今の場所にたどり着いた

服飾学校を卒業後、注文服のアトリエを立ち上げた菊池さん。30歳の時には、ファッションブランド「BIGI」をスタートされました。

「先のことは全くわからず不安もありましたが、それよりも、やりたいことがすごく溜まっていた。それに対して、自分なりに答えを出す方が大切でした」

情熱のままに発表し続けることで、共鳴する人が集まり、仕事が回り始めました。「継続は力なり」と、当時の様子を振り返ります。

「若いときは欲求のままに行動して、失敗もしましたよ。でも、失敗した分、その後はちゃんと考えることが大切。規模が小さいうちであれば、收拾をつけるのが楽ですからね。失敗の後には、どこを変えてどこを攻めればいいのか、実感が湧くから悪いことではないんです」その都度答えを出して、次のステップへと進んでいく。そんなビジネスとクリエイションの両立には、持ち前のバランス感覚が生きています。「頭では極端なことを考えても、必ず真ん中のニュートラルに戻す作業をしています。真ん中というのは割と平凡で、自分ではつまらない。けれども、一番大事。そこにいるから、左右がよく見えるし、人のこともよく見える。アートや創作だけでなく、会社として、モノを生産し

て、社会に受け入れてもらう作業には、いろんな人が関わります。自分だけの考えで物事を進めても、絶対に成功しないと思うんです」

突き抜けているながらも、どこか冷静。そして柔軟。興味があることには、人一倍貪欲に進んでいきます。

「おもしろいってことは強いですよ。そこに向かっていけるから。逆に、何かにこだわると動きが狭くなるし、次のことができなくなる。だから僕はこだわることが美德だとは思わないんです」



情報は情報でしかない  
情熱を持って深く考えよ

オフの日は仕事を忘れ、新宿から銀座、あるいは神楽坂・神田界隈まで、1日に30kmもの距離を歩き回るといふ菊池さん。頭を空っぽにして、日々変わる街を見ながら、時代の空気を肌で感じるのです。

「食事はね、直感的に、美味しそうだと感じた店に入ります。『この店はこういう味かな』って想像して、正しいかどうかを確かめる。失敗はすごく多いですけど、成功もあります。歩いている時にはビルを見て、好きか嫌いかを考えたりね。やはり、肌合いに合うかどうかというのはありますよね」外から入ってくる情報は参考にしない、という菊池さん。物事の大小にかかわらず、その都度自分なりに考えて、自分の判断を検証し続けることで、自然に物事に対する感覚や判断力を磨いているのかもしれない。

「知識として何かを知るだけでなく、いかにその中に人がやっていない“隙間”を見つけるか。情報はいくらあっても構わない。だけど、それが正しいかどうかは疑ったほうがいい。もっと深く考えたら、社会



には手つかずのことが、まだたくさん残っている気がする。そんな手つかずのことや、やり残していることをやるために、79歳になっても仕事を続けているんです」

ファッションを通じて、時代を見つめてきたその目には、現代の社会はどう見えているのでしょうか。

「一つの尺度で測った良し悪しに捉われて、根底にある普遍的な価値が蔑ろにされるのは良くない。新しいことだけをやるのじゃなくて、様々な価値観を認めながら、いいところは残す。全体をデザインする。そのバランスは大事ですよ。それを支えるのが知性なんじゃないかな」

あくまで品位を保って、情熱のままに歩みを進める。「ネコのように自分勝手に動くタイプ」と自身を分析する菊池さんですが、2019年はどんな1年に？

「元号も変わり、日本にとっては歴史的な年になりますよね。だから情熱と希望を持って生きる年にしたいかな。現実には押しつぶされないうち、やりたいことがやれる年にしたいね」

PRESENT

菊池武夫さんサイン入り  
カードケースを1名様にプレゼント

『TAKEO KIKUCHI』の牛革カードケース。落ち着いたデザインでビジネスシーンにマッチするひと品です。プレゼントの応募は [COMMONS PAGE WEB](https://commons.page/web) へ



# COLORFUL STYLE

カラフルな働き方のための新しい場所

株式会社イトーキ  
FMデザイン統括部  
デザイナー  
岩松 里紗さん

三井不動産  
ビルディング事業一部  
事業グループ 主事  
石川 理絵さん

三井不動産  
ビルディング事業一部  
事業グループ 主任  
山本 真梨奈さん

株式会社イトーキ  
FMデザイン統括部  
チームリーダー  
小野 健二さん

学ぶ、くつろぐ、切り替える。

オフィスから限りなく近い

「自分の居場所」が、

働く人をもっと自由にする

ワークスタイルの変化によって、  
仕事とプライベートはシームレスになり、  
働くことは生活の一部になり始めました。

私たちがもっと快適に働き、  
もっと心地よく暮らすためには？

「mot.」プロジェクトの4人に聞きました。

— ここ数年、働き方改革の推進により、仕事と生活の距離が縮まり、オフィスは生活を豊かにするための場所になりつつあります。実際にはどうですか？

**石川さん**：私たちは新しい働き方を作ろうと、多くの人、とくに、働く女性に重点的に話を聞いてきましたが、皆、買い物や手続きなど、今日すべきことに追われ、趣味や学び、新しい出会いなど、「将来のために本当はこうありたい」という理想までは実現できていませんでした。そこで、「オフィスビルの力で、もっと生活にゆとりを」という想いで、今回「mot.」というサービスを始めました。

**山本さん**：「mot.」は、限りなくオフィスに近い地点に、生活を豊かにするための場所を設ける新しい試みです。

ここでは、有料・無料の2つのラウンジと、フィットネスや仮眠室がある「ウェルネス」、テイクアウトのできるデリシヨップやコーヒースタンドがあります。

**石川さん**：仕事場に近い場所に「mot.」があることで、移動や、日々のタスクに割く時間が減り、ホッとする時間や、自分のことを考えられる時間が増えたら、と思いました。

**岩松さん**：「夕飯を買って帰りたいけど、デパ地下に行く時間はない」という声から、同フロアにデリシヨップもできたんですね。

**山本さん**：はい。コンビニの惣菜を夕食に出すのは気が引けるけど、デリなら、お皿に乗せれば出せますよね。「本当はもっと健康に気を遣いたいけど・・・」というような、日々の

ちょっとした罪悪感を解決して、“あと一息”の部分をクリアしたかったんです。それによって、心のゆとりも生まれますから。

— 職場と同じオフィスビル内にジムがあるのも便利ですね。

**石川さん**：「運動したい」という声はよく聞きますが、ジムに通うのは面倒だし、途中で脱落するという声も多かったんです。

**岩松さん**：オフィスビル内であれば、会社の人を誘って、皆で続けられますからね。

**小野さん**：トレーニングルームには壁を作らず、マッサージや仮眠室に行く人も緩やかに繋がれる開放的な空間にしました。横目で見て「ちょっといいな」と思うことが、運動を始めるきっかけになれば嬉しいです。

— 2つのラウンジの役割は？

**岩松さん**：無料のオープンラウンジは、入りやすくカジュアル。色も多く取り入れて、

## もっと心地よく働くために mot. 的ワークスタイルのTIPS

### 1 | 気分が上がる場所をつくる

お気に入りのカフェもいいが、たまには、ホテルのラウンジなど、気分が上がる特別なシチュエーションに身を置いてみたい。仕事や勉強への意欲も湧いてくる。



### 2 | 手触りのある本物の素材に触れる

無機質な家具ではなく、木や石などの自然素材を取り入れる。ツルツとしたものよりも、手触りのあるものを。本物に触れるとリラックスでき、気持ちも切り替わる。



### 3 | 思い切ってタスクは人やサービスを頼る

全てを完璧にこなそうとせず、人に頼めることは頼んで、心と時間に余裕を。空いた時間は、自分のための考え事や、近い将来のために。短時間でもリフレッシュできる。



### 4 | 家と会社以外に自分の居場所を持つ

「1時間スポーツをする」「ウインドウショッピングをする」など、連続した日常の中に、異なる時間や場所を挟み込んでみる。気持ちリセットされ、効率もアップ。



女性が入りやすい雰囲気を感じました。石や木など、日本橋らしい本物の素材感も大事にしているんです。個室や半個室はそれぞれ色やテーマが違うので、何度来ても飽きません。

**山本さん**：業務で集中したい時にも、少人数での打ち合わせや、ボックス席でワイワイ昼食を食べるのにもおすすめです。

**石川さん**：有料のメンバーズラウンジは、自分のための時間を過ごせる場所。面倒なことはコンシェルジュに任せて、空いた時間にネイルやマッサージをしたり、広いデスクで勉強もできます。働く中で、自分

がちょっとハッピーになれる時間を過ごしてほしいです。

**小野さん**：エリアごとに家具や雰囲気が異なるので、用途や気分によって、過ごす場所を自分で選べます。タイルを歩く音や、ソファの手触り、ラグやカーペットの歩行感など、体験を通じて五感を刺激し、気持ちを切り替えられる空間になっています。

**山本さん**：「mot.」はオフィスビル内だけでなく、外でもある。会社公認の“居場所”ですね。

**石川さん**：色々な使い方ができるので、ぜひお気に入りの場所を見つけてください。

## mot. Mitsui Office for Tomorrow

オフィスでも、プライベートでも、もっと快適で豊かな時間を過ごすために、『三井のオフィス』で働くビジネスパーソン専用の会員制施設・サービスです。

※ご利用いただける方が特定のビルの勤務者に限られております。ご利用いただける方には随時ご案内を差し上げております。

# COLORFUL NOW

『三井のオフィス』で働く人たち

## 働く女性へ、 ラウンジのような 「居心地のいい医療」を 提供したい

女性が心からリラックスできる、カフェのような医療の場を目指して、この冬、東京・日本橋に「フィーカ レディースクリニック」が誕生しました。代表の佐藤雄一先生は、12代続く医者の家系に生まれ、群馬県にある佐藤病院の院長でもあります。

— クリニック開設への想いをお聞かせください。

産婦人科医として、思春期から老年期まで幅広い女性の悩みと向き合う中で、働く女性の生活環境や、予防医療に対する知識や啓発の重要性を感じてきました。現代に多い不妊の悩みや、赤ちゃんの不妊は、お母さんの食生活や運動・睡眠不足と繋がっています。企業と連携して、早い段階で生活習慣の指導や、検査・

治療を行えば、将来悩む女性を減らせると考えました。それに、普段から妊娠・出産に耐え得る身体づくりをしておけば、ハードに働いても疲れにくくなり、仕事のパフォーマンスも上がります。

— 働きやすい職場づくりのために、企業側が意識すべきことはありますか？

昨今は男女平等が叫ばれていますが、『男と女は違うものだ』と知ってほしいですね。そのためには、双方に医学的な情報を提供する必要があります。例えば、男性も、女性のイライラや、不調の原因を知っておく。不妊治療や妊婦健診の内容や回数なども、経営者が理解していれば企業としてサポートできますよね。

— 女性自身が小さな悩みを解決するためには？

### フィーカ レディースクリニック（婦人科・内科）

自分の身体や心の状態を知るための「プレコンセプションケア」をはじめ、ブライダルチェックやアスリートセットなど、女性のための特別なプログラムが充実。企業健診や健康経営アドバイザーなど、企業のためのサービスも提供している。院内にて、定期的にミニセミナーを開催中。

場所 東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング 10F  
問合せ 03-6910-3977 URL <http://fika-lc.jp> E-mail [contact@fika-lc.jp](mailto:contact@fika-lc.jp)



佐藤病院  
院長  
佐藤 雄一 先生



# ワーカー・ススムくんの カラフル★オフィス日和

— オフィスも暮らしも一緒に楽しいねくミクストユース篇 —

Illustration: JOE OKADA



**登場人物**  
ソノサキ ススム 日本橋に勤務するサラリーマン。ランチで近隣の名店をまわるのが趣味。社内の飲み会のお店選びでは「グルメススム」と呼ばれ絶大な信頼を得ている。  
課長 ススムくんのグルメ仲間。美味しい食事をよくよく愛しているが、密かにお腹のメタボを気にしている。最近オフィス内にできたフィットネスに通うことを検討中。

**ミクストユース** 不動産開発においては「オフィス」「ホテル」「商業施設」などの複数の異なる機能をもたせることで相乗効果を生み出すこと。三井不動産では「ミクストユースのまちづくり」を推進しています。

## PRESENT

話題のホテル「プルマン東京田町」の  
宿泊券を1組2名様に



JR 田町駅直結の「ムスブ田町」に、都会型のハイクラスホテル「プルマン東京田町」がオープンしました。館内には、ルーフトップバーやエグゼクティブラウンジを備え、ビジネスにも観光にも最適です。洗練されたモダンな和の空間で、快適なステイをお楽しみください。  
※宿泊券はスーパーリアルーム宿泊券（朝食付）1組2名様（宿泊可能期間：2019年4月16日～2019年7月15日）

プルマン東京田町

場所 東京都港区芝浦 3-1-21  
問合せ 03-6400-5855  
URL <https://www.pullmantokyotamachi.com/ja/>

15周年を迎える「東京・春・音楽祭 2019」  
ご招待チケットを10組20名様に

クラシック音楽の祭典「東京・春・音楽祭 2019」が15周年を迎えます。会期中、上野エリアには世界各国から音楽家が集い、様々な演奏会が開催されます。満開の桜とともに、美しい音の調べを、どうぞご堪能ください。

東京・春・音楽祭 2019

日時：2019年3月15日（金）～4月14日（日）  
場所：東京文化会館ほか、上野エリア一帯  
問合せ：03-5205-6497  
URL：<http://www.tokyo-harusai.com>  
※COMMONS PAGE WEBにて、見どころをご紹介します。



FLOWERS BY NAKED 2019 — 東京・日本橋 —  
特別優待券を30組60名様に

日本橋で、クリエイティブカンパニー NAKEDの「日本一早いお花見」をしませんか？今年、日本の伝統を牽引するアーティストも多数参加。音、香り、生花、プロジェクションマッピングなどで演出された空間に、酔いしれてください。

FLOWERS BY NAKED 2019 — 東京・日本橋 —

日時：2019年1月29日（火）～3月3日（日）  
場所：東京・日本橋三井ホール COREDO 室町1・5F（エントランスは4F）  
問合せ：nihonbashi@flowers.naked.works  
URL：<https://flowers.naked.works/2019nihonbashi/>



「COMMONS PAGE」限定でホテル宿泊券のプレゼントもご紹介しています。プレゼントの応募もCOMMONS PAGE WEBから  
COMMONS PAGE 『三井のオフィス』で働く皆様に、イベントや各種ご優待のほか、仕事のヒントや生活に役立つ情報をお届けしています。ビジネスチャンスをつくり出す交流の場として、ご活用ください。 『三井のオフィス』で働く人に。 [commons-web.jp](https://commons-web.jp) コモンズページ



## あなたは今年、なにどし？

今年、亥年。

心を新たに、目標を立てた人も多くいるでしょう。

『三井のオフィス』は、さまざまな動物たちのように、  
一人ひとりが自分らしく働く年であってほしいと考えます。

ニワトリのように朝型で働いたり、

カンガルーのように子どもの近くで働いたり、

飛びまわる鳥のように場所を変えながら働いたり。

『三井のオフィス』が目指しているのは、

そんな風に誰もが十人十色、

自分のカラーを活かして働けるオフィス。

イノシシのように猪突猛進な年にするもよし。

自分の働き方を、自分で選択する。

今年、そんな年にしませんか。

## COLORFUL WORK PROJECT

[その先の、オフィスへ](#)

三井のオフィス

 三井不動産